

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

家族と地域の再生を支える家

グループの名称

安達太良匠の会

直近採択グループ番号

06-0019-0152

(グループ代表者)

代表者名

齋藤 守司

代表者印

代表者所属先

有限会社齋藤工匠店

代表者所在地

福島県二本松市針道字西ノ内139番地1

代表者電話番号

0243-46-2323

(グループ事務局)

事務局事業者名

有限会社齋藤工匠店

事務局担当者名

齋藤 守平

印

事務局郵便番号

964-0202

事務局所在地

福島県二本松市針道字西ノ内139番地1

事務局電話番号

0243-46-2323

事務局FAX

0243-46-3325

事務局担当者E-mail

takuminowaza@saitocoshoten.co.jp



B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		3	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		2	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸					
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸					
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟				
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟				
					0	m <sup>2</sup>				
					0	m <sup>2</sup>				
申請が確定した工務店から先着順に配分し、取り組みが未経験の工務店は優先的に配分する										
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)										
E. 平成29年度の執行状況(必須)										
長寿命型(長期優良住宅)										
		採択戸数	4	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(認定低炭素住宅)										
		採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)										
		採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)										
		採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
優良建築物型										
		採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸
		採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 家族と地域の再生を支える家	(地域型住宅供給対象地域) 福島県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 安達太良匠の会	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0019-0152	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	耐震性・耐久性及び省エネルギー性能など、原則として長期優良住宅の基本性能を確保する	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	地域に伝わる伝統軸組工法で、大工技術を継承すべく、できるかぎり手刻み加工とする	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	通風・採光に配慮すると共に、美しい自然と一体となった空間を目指し、自然素材(木・漆喰・和紙・畳)の多用化を図る	○
④①～③の背景	①の背景:現在の住宅性能としては長期優良住宅が基本になるであろうことから ②の背景:大工職人の技術継承の観点から ③の背景:美しい自然と一体となり、より省エネルギーな住宅建設を目指すため	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 『「ふくしまの家」復興住宅システムプロポーザル』で作成した実施図面を基本寸法規格とする	○
①-2 使用建材の統一	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 「ふくしまの家」復興住宅システムプロポーザル』で作成した実施図面を標準仕様とする	○
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・構成員の資材業者が連携し、効率の良い供給ルートを確保する	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・メール・LINE・FAX・クラウドやwebサイト・SNSを活用し情報の共有化を図る	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 毎月第二木曜日に開催される定例会にて情報を共有し、効率のよい生産体制を検討する	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記②や③の情報の転送及び実績などデータ管理	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 根切り前に必ず地盤調査を実施し、必要な地耐力を確保する	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関を利用し、基礎配筋時、躯体金物検査を施工基準とする	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 見積書の雛形を利用し、これを活用し積算する	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: webやSNSで活動内容の公開・更新をしている	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 毎週第二・第四土曜日は休みとし、現場状況により休めない場合も、代休を設ける	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 毎月1.2回大工手道具の仕込み方法や、木材の見方、使い方などの勉強会を実施する	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 従業員は全員社会保険に加入する	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 毎朝朝礼時のKY活動、及び社内の安全パトロールを行う	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 家族と地域の再生を支える家	(地域型住宅供給対象地域) 福島県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 安達太良匠の会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0019-0152	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関を活用し住宅履歴情報を管理する	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関を活用する	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報登録証明書の添付	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理計画書(30年)を作成し、それに基づいた点検を実施する	○
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 担当工務店が点検を行い補修が必要と認めた場合は、その担当工務店が責任をもち補修する	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検実施確認表での確認を行う	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 流通業者などが主体となりサッシ、建材などの維持保全に関する講習会を行う	○
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工業者などが主体となり簡単な木工体験会などを実施する	○
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 相談会を実施し、積極的に住宅取得者からの相談に応じる	○
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各構成員が集まる定例会にて維持管理の方法を検討する	○	
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 対象住宅に一番近い工務店が基本的にバックアップを行う	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 民間機構の検査時に指摘されたことなどを定例会にて共有を図る	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定例会にて長期優良住宅の経験者がセミナーを行う	○
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 品質管理チェックリストをもちいて現場管理を行う	○
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 品質管理チェックリストの提出	○
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅を構成員全会員が当たり前に施工できるような体制の確立を目指す	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: できる限り「手刻み」にこだわり、墨付け・刻みの技術を継承させ、技術力の向上を図る	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工者と設計者が緊密に連携することで計画段階から材料の無駄を省く	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 15 今年度の参加目標人数 2	○
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 20 今年度の参加目標人数 2	○
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 講習会の案内をFAX・メールなどで呼びかけ参加を促す	○
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 気密施工がしやすく高断熱な施工方法を導入	○
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 伝統軸組工法で「長期優良住宅」の仕様・仕口などを検討	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 家族と地域の再生を支える家	(地域型住宅供給対象地域) 福島県													
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 安達太良匠の会	(結成年) 2012年													
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0019-0152														
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。															
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
a	① 地域材利用に関する 共通 ルール(必須)	県産木材証明制度:主要構造材(柱・梁・桁・土台)に使用 合法木材証明制度:主要構造材(柱・梁・桁・土台)に使用	◎												
	② 地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	■ 50%未満      □ 50%以上      □ 80%以上													
	③ 標準的な地域材の使 用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: □ 使用していない    ■ 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: □ 使用していない    ■ 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: ■ 使用していない    □ 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない    □ 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: ■ 使用していない    □ 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: ■ 使用していない    □ 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: □ 使用していない    ■ 使用している		柱: □ 使用していない    ■ 使用している		梁・桁等の横架材等: ■ 使用していない    □ 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない    □ 使用している	造作材	枠材、廻縁等: ■ 使用していない    □ 使用している	板材	壁板、床板等: ■ 使用していない    □ 使用している	◎
主要構造材	土台: □ 使用していない    ■ 使用している														
	柱: □ 使用していない    ■ 使用している														
	梁・桁等の横架材等: ■ 使用していない    □ 使用している														
羽柄材	間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない    □ 使用している														
造作材	枠材、廻縁等: ■ 使用していない    □ 使用している														
板材	壁板、床板等: ■ 使用していない    □ 使用している														
	④ 地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に關 する補足説明														
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない    ■ ある → 内容: 県産材木証明機関となっている構成員(森林組合)からの情報を定例会などを利用し共有する	○												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない    ■ ある → 内容: 県産材木証明機関となっている構成員(森林組合)からの情報を定例会などを利用し共有する	○												
	② グループ全体における地 域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない    ■ 行っている → 内容: 復興住宅建設はだんだん落ち着きつつあり、現在は下向気味と思われる	○												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない    ■ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 30枚	○												
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない    ■ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 75坪	○												
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない    ■ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 6枚	○												
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない    ■ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 6枚	○												
	②-1 その他地域の伝統的な素 材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない    ■ 行っている → 内容: 上川崎の和紙の活用	○												
	②-2 その他地域の伝統的な意 匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない    ■ 行っている → 内容: 二本松伝統家具の活用	○												
d	① 地域の伝統的なデザ インを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない    ■ 行っている → 内容: 城下町にふさわしい和風で落ち着いたきのある意匠の家	○												
	② 地域の住まい方の継承に つながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない    ■ 行っている → 内容: 自然と一体となるよう通風・採光に配慮し、自然素材を活用した健康的な住まいづくり	○												
	③ 地域の街並み形成へ寄 与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない    ■ 行っている → 内容: 原色など派手な色を使用せず、落ち着いたきのある色・素材を使用する	○												
	④ 和の住まいの要素を取 入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない    ■ 行っている → 内容: 上川崎の和紙や二本松伝統家具の活用を図る	○												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。														
カ. その他															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
	東日本大震災の復興に資する取組	平成27年度は福島県買取型復興公営住宅整備事業に採択され当会で21戸の実績を残し、H29年度は南相馬市に避難解除で戻られるご家族の復興住宅建設を行う、他各種イベントに積極的に参加し、被災者の相談を聞くなどの活動を行っている。	◎												
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	構成員より募金を募り熊本県へ	◎												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 家族と地域の再生を支える家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 福島県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 安達太良匠の会	<small>(結成年)</small> 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0019-0152	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<div style="border: 1px solid black; height: 750px; width: 100%;"></div>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。